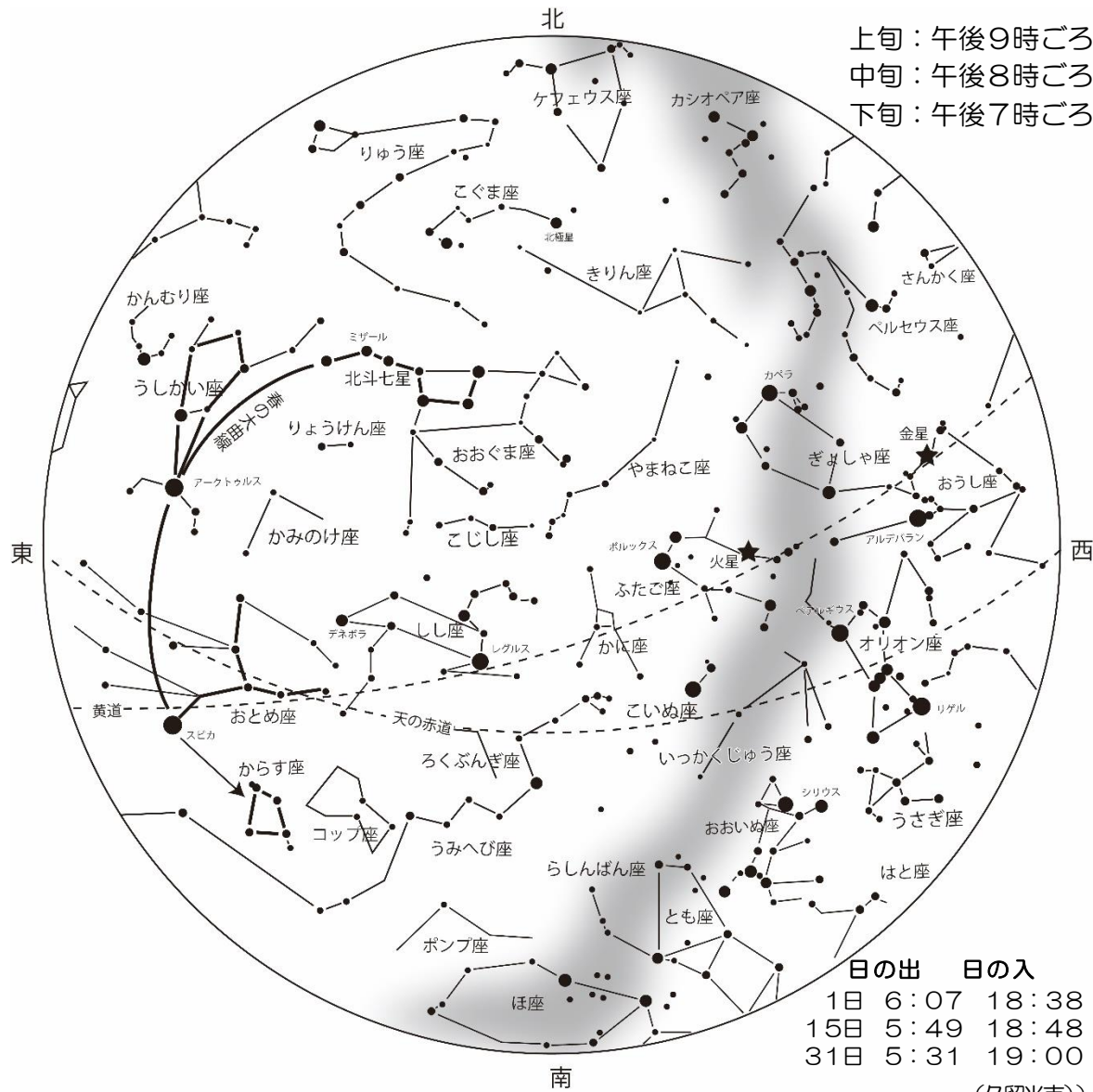


令和5年 4月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



上旬：午後9時ごろ
中旬：午後8時ごろ
下旬：午後7時ごろ

★4月の星空案内

今月は南から東の空にかけては春の星座を見ることができます。春の星座探しは、北の空に見えている7つの星でできる「スプーン」のような星の並び「北斗七星」から始めます。北斗七星はおおぐま座の背中からしっぽにあたる部分です。北斗七星を「スプーン」に見立てたとき、持ち手の部分のカーブをのばしていくとオレンジ色に輝くうしかい座の1等星アークトゥルスが見つかります。さらにこのカーブをのばしていくと白色っぽく輝くおとめ座の1等星スピカが見つかります。うしかい座はアークトゥルスから北側にある「ネクタイ」のような星の並びが目印で、おとめ座はスピカから「アルファベットのyの字」のような星の並びが目印です。アークトゥルスとスピカを見つけるために使った夜空に描かれる大きなカーブは『春の大曲線』といい、春の星座探しのよい案内役です。また、北斗七星からスピカまでのばした春の大曲線をさらにのばすとからす座を見つけることができます。からす座は4つの星を結んでできる四角形のような星の並びが目印です。

春の夜空に描かれる大きなカーブ『春の大曲線』をたよりに、春の星座探しを楽しんでみてはいかがでしょうか。

【 見ごろの惑星 】 (☆マークは、今月のおすすめです。)

- ☆水星 (0.8 等前後)：うお座→おひつじ座付近 日の入り後、西の低空で明るく輝く。(中旬)
- ☆金星 (-4.1 等前後)：おひつじ座→おうし座付近 日の入り後、西の低空でひととき明るく輝く。
- ☆火星 (1.1 等前後)：ふたご座付近 20時頃、南西の空で赤っぽく輝く。
- 木星 (-2.0 等前後)：うお座付近 観望に適さない。
- ☆土星 (0.9 等前後)：みずがめ座付近 日の出前、東南東の低空で明るく輝く。(中旬～下旬)

注目の天文現象(4月)日の入り直後の空で、月が金星と火星に相次いで接近

4月の日の入り1時間後の西の空では、金星と火星の2つの惑星を見つけることができます。4月下旬には、月が金星と火星に相次いで接近していきます。まず、4月23日(日)には、細い月が金星に近づきます。金星は、日の入り後の西の空で-4.1等前後と、ひととき明るく輝いており、徐々に高度を上げていきますので観察しやすくなっています。3日後の4月26日(水)には、月が火星に近づきます。火星は1.1等前後で、-4.1等前後の金星と比べると暗いのですが、赤色っぽく輝く様子は特徴的で、明るい月のそばでも探すことができると思います。

また、4月20日(木)に新月を迎え、23日(日)の月は、新月の日を含めると4日目に当たり「四日月」と呼ぶこともあります。そして、28日(金)に半月、上弦の月を迎えます。月と惑星の接近と合わせて、月の満ち欠けにもご注目ください。

4月下旬は、月が2つの惑星と接近する様子を楽しんでみてはいかがでしょうか。

日の出	日の入
1日 6:07	18:38
15日 5:49	18:48
31日 5:31	19:00

(久留米市)

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
6	木	○ 満月 (13:35)	20	木	● 新月 (13:13) 部分月食 (14:30 頃) ※日本の南部のごく一部の地方
12	水	水星が東方最大離角			
13	木	● 下弦 (18:11)	28	金	● 上弦 (11:32)